

## 会報委員会

◇◇◇ 編集委員 ◇◇◇

|           |             |
|-----------|-------------|
| 山本剛郎(7期)  | 秦 博文(14期)   |
| 小林 修(20期) | 美濃部五三男(30期) |
| 大西彩子(32期) | 石田晶大(副校長)   |

# 阜 城



同窓会報・第9号

大阪教育大学  
附属池田中学校阜城会  
発行者 松本淳一郎(2期)  
題 字 豊田 千代(2期)  
〒563-0026

大阪府池田市緑丘1-5-1  
☎072-761-8690  
FAX 072-762-1104  
URL http://kojokai.com  
編集・構成・印刷 野崎印刷所  
〒664-0002 伊丹市荻野4-49  
☎072-778-0204



## 母校への強い愛着と期待の大きさを実感

阜城会  
会員の皆  
様方には  
ご健勝の  
こととお慶び申し上げます。

また、平素は母校発展のために多大のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。私は平成21年4月から校長を拝命し、第64期生と共に

この附属池田中学の一員となりました。着任早々の4月の総会、12月の東京支部の総会にご招待頂きました。そして、会員諸氏の母校への強い愛着と期待の大きさを知り、月日と共にその責任の重大さを痛感しております。私は長年、公衆衛生学、

中でも環境および健康問題に取り組んで参りました。『健康』を単に病気や障害のない状態として捉えるのではなく、置かれた環境にうまく適応し、自己実現を目指す状態と考えております。そのような生徒を増やす健康な学校づくりをWHOはヘルスプロモーション・スクール(HPS)と呼び、ヨーロッパをはじめ、タイ、韓国、中国、台湾、

香港など東南アジアの諸国では国を挙げて取り組んでいます。一人ひとりの子どもが主人公となり、困難な状況の中でも挑戦し続ける強い子どもに育てる学校づくりを目指すためにも、家庭や地域、関係する諸機関や団体と連携して取り組んで行かなければならないと思っています。しかし、平成16年の独法化以降、財政的に非

常に厳しい条件下での学校運営を強いられておりますが、PTAや教育後援会の深いご理解とご支援に支えられていくことに教職員一同感謝申し上げます。励んで参ります。

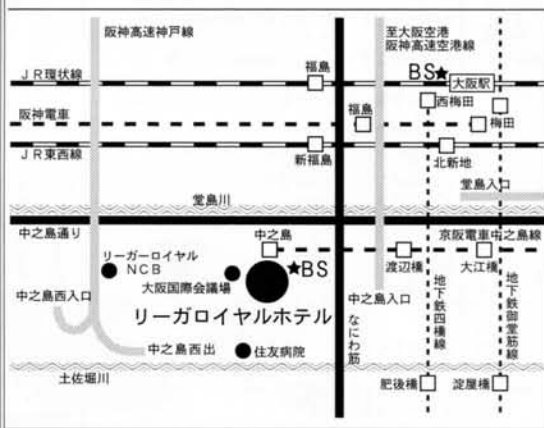
## 今年はリーガロイヤルホテルで会いましょう!!

### 平成22年度 阜城会総会ご案内

- ◆日時 平成22年4月11日(日)午後1時～3時30分
- ◆場所 リーガロイヤルホテル 桐の間  
大阪市北区中之島 5-3-8 ☎06-6448-1121  
<http://www.rihga.co.jp/osaka/map/index.html>  
京阪電車中之島線「中之島」駅直結  
JR「大阪」駅(桜橋口西側ガード下)より  
シャトルバス(6分間隔、約10分)  
他ホテルのシャトルバスあり、注意
- ◆会次第  
第一部 総会  
第二部 講演  
講師 境 孝彦 さん(10期)  
演題 「私の航空人生」  
講師 渡辺 洋一郎 さん(20期)  
演題 「いのちを大切にす国に

～精神科医の視点から～

- 第三部 懇親会・ミニ同窓会  
会の司会進行 関根友実 さん(40期)  
賛助金(56期生以降は2,000円)  
賛助金(一口1,000円)と一緒に同封の振込用紙にて最寄りの郵便局から3月19日までに送金ください。
- ◆会 費



今年の総会は10の期(10・20・30・40・50・60期)が担当します。10の期で話し合い、総会のリフレッシュと参加への利便性を考え、今回は会場を池田市民文化会館より大阪市内中之島のリーガロイヤルホテルに移して行うことにしました。総会第二部では元日航パイロットの10期の境孝彦氏と精神科医の20期の渡辺洋一郎氏にご講演していただきます(6面に詳細)。新しい会場で、より多くの同窓生が参加、再会されんことを願っております。



## ご挨拶

阜城会会長 松本 淳一郎

阜城会会員の皆様方には、お健やかにご活躍のこととお慶び申し上げます。本年の年次総会のご案内を兼ねて会報をお届けいたします。

今年は10の期の皆さんが運営に当たってくださることになっておりますが、既に何度も会合を重ねられて周到な準備を進めてくださっております。今回は初めて池田の地を離れて大阪のリ

ーガ・ロイヤルホテルで開催されることになりました。多数のご参加をいただいで賑やかな会になりますことを期待しています。

阜城会が後援している「先輩の授業を受けよう」は昨年も成功裡に行なわれました。9月12日(土)に20名の阜城会会員が講師として学校に参集して下さり、夫々の専門分野について中学生が興味を覚える講義をしていただきました。

ご協力をいただいた皆様をはじめ、阜城会員の皆様に厚くお礼申し上げます。阜城会はお蔭様で年々盛大になり、活動内容も充実してまいりました。これは偏に会員の皆様のご協力によるものでありますが、加えて、理事を引受けて活動していただいている方々、毎年総会を盛り上げていただいている担当各期の世話役の皆様のお骨折りによる処が非常に大きいと思います。人生の中で最も素晴らしい中学校時代の同窓会を更に豊かなものにするため、若い方々も奮って参画していただくよう心から願っております。



演劇の歴史から  
楽しさまで  
上田氏(28期)

## 在校生も卒業生も、目が輝く

# 先輩の授業を受けよう!

—今年で8回目。阜城会が協力して2回目です。—



熱く、タフに  
生きてみよう  
川井氏(31期)



石田副校長とOB講師陣

「先輩の授業を受けよう!」は、平成8年の母校50周年記念事業の一環として企画され、その年だけで3回開催されました。その後、平成17年9月に60周年プレイベントとして再開、60周年、61周年、62周年、63周年と続き、今回で通算8回目となりました。平成17年以降だけでも各方面で活躍されておられる、実に66名の阜城会員(卒業生)の方々に授業をしていただいております。

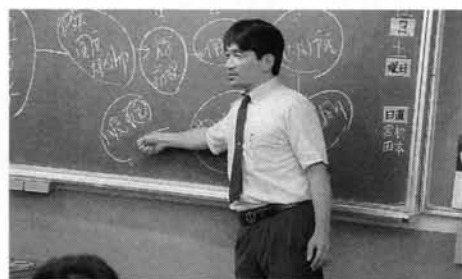
昨年も9月12日(土)に20名の先輩が講師として母校に参集、時間を掛けて身に付けられた高度な専門知識や人生哲学など実体験に基づいた本物の示唆に富んだ授業を展開していただきました。附中生たちにとって、年齢的に難解な部分もあったかも知れませんが、この体験は、後輩たちに附中での学習や生活を見つめ直したり、自分の特性や進路を考える機会となったと確信しています。また、個々の心の中に長く残り、今後歩んでいくだろう、その人生の途上できつと役立つときが来るに違いないと感じました。講師を買って出ていただき、また、阜城会の方々に、ありがとうございます。

子どもたちの自分探しのため、学校・PTA・阜城会が協賛して行ってきた事業ですが、その開催継続に協力しようと平成20年度からは阜城会が人的な面だけでなく、経費の面で後援も担うようになりまし。この素晴らしい授業が今後とも続けられますよう皆様のご協力をこのころからよろしくお願いいたします。

(記 小林 修)

### 平成21年度 「先輩の授業を受けよう!」講座一覧表

| 講座番号 | 講師名    | 期  | 講師肩書き等                      | 講座テーマ                                                |
|------|--------|----|-----------------------------|------------------------------------------------------|
| 1    | 青野 達司  | 9  | 建築家                         | カンボジアで学校を作る                                          |
| 2    | 川井謙太郎  | 31 | 川井歯科医院院長                    | 熱く、タフに生きてみよう<br>～ランナーとして、町医師として～                     |
| 3    | 荒堀 善文  | 31 | 関西大学 学事局<br>経商事務チームグループ長    | 地球市民社会づくりへの第一歩<br>～阪神タイガースの岩田投手やフィギュアの高橋大輔選手とともに、歩む～ |
| 4    | 宮 直史   | 24 | 公認会計士 税理士                   | あなたにとって今一番大切なものは何ですか                                 |
| 5    | 福島 幸雄  | 24 | 八尾市立病院救急診療科部長               | 意外に知られていない、勤務医のお仕事                                   |
| 6    | 戸田 省吾  | 24 | 大津市民病院呼吸器外科部長               | タバコを吸ったらいけないの? がん手術の裏話                               |
| 7    | 小出美智子  | 10 | 絵本読み聞かせボランティア               | 絵本読み聞かせ<br>一心をたがやしてくれる楽しい世界                          |
| 8    | 前田 卓郎  | 27 | 日本銀行大阪支店副支店長                | 人生をポジティブに生きるための「文武両道」のすすめ                            |
| 9    | 濱 弘明   | 33 | 毎日新聞編集局運動部                  | 石川遼取材しよう                                             |
| 10   | 多田 勇助  | 33 | 医学博士 多田内科理事                 | 体の中をのぞいてみよう<br>～内視鏡でなにが見えるでしょう?～                     |
| 11   | 長谷川昌亮  | 38 | 公智神社 禰宜(ねぎ)                 | 家を継ぐとは                                               |
|      | 岡 達也   | 38 | あさひ高速印刷株式会社<br>代表取締役        |                                                      |
| 12   | 内田 良平  | 40 | スポーツ整形外科医                   | スポーツよもやま話                                            |
| 13   | 関根 友実  | 40 | フリーアナウンサー                   | 声を仕事にしたいひとたちへ<br>～音声表現の楽しさ～                          |
| 14   | 山口多賀幸  | 31 | 非破壊検査株式会社社長                 | 安全の防人として<br>～新米社長から後輩へのメッセージ～                        |
| 15   | 木下 晴弘  | 32 | 株式会社アビトレ代表取締役会長             | あなたを確実に幸せにする90分                                      |
| 17   | 美濃部五三男 | 30 | 獣医師                         | ヒューマン・アニマル・ボンド(HAB)を知っていますか                          |
| 18   | 上田 浩人  | 28 | 松竹株式会社関西演劇部<br>演劇チーフプロデューサー | 演劇の歴史から楽しさまで                                         |
| 19   | 児玉 泰明  | 44 | 内閣府官民人材交流センター<br>調査官        | どう過ごす? 附中時代                                          |
| 体験   | 西野 公章  | 28 | 鉄鋼会社役員                      | 一緒にミニSLに乗ろう                                          |



勤務医のお仕事 福島氏(24期)

28期西野氏が「一緒にミニSLに乗ろう」を企画・設定してくださいました。今回は、「親の後を次いで会社経営をしている卒業生を集める」こともテーマの一つだったそうです。鉄をつくる会社を経営されている西野氏(共永興業株式会社 代表取締役社長)に依頼したところ、「本社には本物のSLがあるので、持って行けないので、ミニSLを走らせ、授業ではなく『先輩の授業を受けよう!』を盛り上げましょう」と提案してくださいました。



当日は附属高校の生徒も含めて、延べ300人くらいがミニSL乗車を楽しく体験しました。運搬や設置など、大変な作業だったと思います。ありがとうございました。

「先輩の授業を受けよう！」に出て

9期 青野達司氏

石田晶大先生からお声をかけていただき昨年の秋、「先輩の授業を受けよう！」に出させていただきました。

私は建築家です。附中を出た後、豊中高校を経て東京芸術大学で建築の勉強をしました。大学卒業後10年ほど設計事務所です仕事をし、その後独立して自分の事務所です仕事をして今日に至っています。

10年以上前から設計の仕事のほかにいくつかの市民活動をはじめ、その中のひ



「家を継ぐとは」 岡氏（あさひ高速印刷）・長谷川氏（公智神社）（38期）



とつが「先輩の授業を受けよう!」でも話したカンボジアで学校を作っているNPOです。それ以外にも地元の街づくり活動とか、職能団体での対市民活動とか設計活動もなるとか続いています。

カンボジアには1997

年から行き始め、昨年では1回の渡航になりました。現地での私の仕事はNPOがつくっている学校の工事現場を回って工事のチェックをし、必要に応じて工事の指導をするというものです。建物の設計と工事は現地の建築業者がやっています。発展途上国には自立が必要で、なおかつ向こうは日本に劣らず文化の伝統のある国です。そういう観点から出来るだけ日本の考えを抑

「先輩の授業を受けよう！」に参加して

24期 戸田省吾氏

ないの?? がん手術の裏話  
 ? √をテーマに参加させて  
 いただきました。たばこを  
 吸うと肺がんに6倍から20  
 倍くらいなりやすいことを、  
 レントゲン写真や手術の写  
 真やビデオを通じて説明し  
 ました。手術のシーンや取  
 り出した肺の写真を怖がる  
 生徒もいるかと思いました  
 が、みんな食い入るように  
 見つめていて、あとの感想  
 文でもとても興味深かった  
 と書いてくれていました。  
 特に、タバコを吸っていな  
 い人の肺と1日40本吸って  
 いた人の肺の写真の違いに  
 いい意味でショックを受け  
 てくれたようで、△たばこ  
 は絶対に吸いません√と書  
 いてくれていた生徒がたく  
 さんいました。



たばこを吸ったらいけないの？

講義の後半は、手術の裏話ということですが、日常生活でも使えるハサミの持ち方を教え、実際に手術に使うベースメーカーや人工血管に触れてもらいました。さらに、手術中に、△おしっこにいきたくなったらどうするか▽汗をいっぱいかくのか▽△汗をいっぱいかくのか▽など、テレビドラマの手術シーンを見ているだけではわからない裏話を

「自分の仕事を  
考える機会に」

33期 濱 弘明氏

川達に取材してみよう」と超して、新聞づくり一般やスポーツ取材に関するお話をさせていただきました。既に自分の一番上の子よりも年少である後輩たちには、非常に熱心に話を聴いても、らしい、「さすが附中生」と私の授業では、まず導入



石川遼に取材してみよう

ら、新聞の各ページが目的別に記事を集めて作られていること、配達地域によって締め切り時間が違うため、地域ごとに少しずつ「版」の違う新聞が配られていることなどを話しました。その後、プロゴルファー・石川遼選手が優勝した試合の取材メモやDVDなどから当時の様子を再現し、「新聞記事を書いてもらう」という授業を始めました。

すが、ゴルフとはどんなものかという部分になると、かなり個人差がありました。このため、熱心に質問し、自分の言葉で「記事」を書くことができた生徒さんと、もっぱら「聞き役」に回り、執筆にもとまどう生徒さんに二分されてしまうという、少々気の毒な現象が生じてしまいました。

レジュメなどを事前に配布して、「ある程度の予備知識を与えておく必要があった」というのが、今回の大きな反省点です。一方で、私自身にとっては、自分の仕事がどの程度認知されているのか、若い人たちの新聞に対する考え方などを知る貴重な機会となりました。そして、私自身がこの仕事を通して何をすべきかを改めて考え直すことができました。

関係各位に感謝いたします。  
(毎日新聞)

大阪本社運動部 副部長



# 年次活動報告

## 2期生 「さつき会」

2期生クラス会「さつき会」を11月11日(水)大阪にて下記の通り開催しました。

屋の部は落語鑑賞。「少々



ボケようが、動きが鈍ろうが人間業は死ぬまで現役、笑ってしゃべって食べて明日に備えよう」と謳って開業3年目に入った浪花の新人所「天満天神 繁昌亭」天満天神繁昌亭では33期生の前田仁君、芸名 林家竹丸君(「ケケマル」ではありません。タケマルです」とご本人説明)の出演と出くわし閉幕後、有名芸人竹丸君と集合写真をとる光栄に浴しました。

## 13期生 恒例のテニス会と夕食会

(H21・10・31開催)

13期生は、毎年10月にテニス会と引続き夕食会を開催している。テニスで動かない身体であるが、夕食会では口を動かし回り、皆50年前の中学生時代に。今回は、東京から野村君も訪れ、前夜から酒場に集まった者達も多かったらしい。このように楽しい一時を過ごしている。

残念なことに、テニス同窓会常連の鮫島義一君が平成21年12月22日に癌で永眠

卒業以来続く



した。心からご冥福を祈る。(記 正岡 哲)

## 31期生 祝20周年記念「池田かき峰忘年会」開催!

1990年の年の瀬からスタートした有志忘年会も昨年末で20周年を迎えました。出席者の中には皆勤賞の同窓がいたり、在学中とは極めて様変わりしてしまっ

た?級友がいたり、今年も大いに盛り上がりしました。加えて今回は、私たち附中31期生で初めて担任を持たれた石田晶大副校長先生が本年3月に附中を定年退職されますので、そのお祝いと感謝の気持ちをこめて、

私たちが中心となって企画



いう失礼な再会挨拶も、いつの間にか丸坊主と赤い2本線入りセーラー服の会話を戻っていました。来年再会を約して8時半ごろ自由解散しました。繁昌亭参加19人、白楽天参加23人、今回はサンフランシスコより川島恭子さんも参加されました。関東からは6人の参加でした。(後期高齢者報告)(記 北田喜国)

## 9期生 同窓会報告

4月12日に開催された皇城会の総会に合わせ、総会終了後の17時より大阪梅田にて9期生の同窓会を行いました。今年の総会は「9の期」の担当ということで、総会での記念講演をした青野達司君をはじめ東京からの8名の参加を含め、全部で30名の多数が梅田に集まりました。卒業以来、初めて会うという人もあり、にぎやかで楽しい時間を過ごしました。会合は3時間半ほどでしたが、名残りを惜しみつつ、また近いうちの再会を約束して散会しました。

なお、総会にも出席した18名は、移動の途中の時間を利用して、池田五月山の旧校舎跡を訪れました。



50年あまりの昔の思い出がよみがえり、日々の生活にまた新しい力をもらえた気がした一日でした。(記 加藤 止明)

## 11期生 卒業50周年同窓会

7月4日、ホテル阪急インターナショナル5Fの山吹の間で開かれました。参加者は男子21名・女子12名の合計33名と恩師の藤原喜代子先生・山根孝先生のお二人に御来賓いただきました。懐かしい話も次々と出て、楽しい3時間を過ごしました。東京・九州・沖縄からも駆けつけて頂いての盛会でした。藤原先生の「おてもやん」の歌も披露して頂き、最後は山根先生の朗々たるリードで校歌を歌いました。

青心会メールアドレス: seishinkai@jttk.zaq.ne.jp  
「次回は5年後に」という提案が出ています。その時は70才ですね。元気に再会できることを祈っております。

(記 石島正嗣)



ねて開催しました。

なお、この「集い」は、31期生のみならず、先生をお慕いする各期の附属池田



中学校卒業生を対象に開催されます。私たちがお慕いしてきた石田先生が母校を退職されることは誠に限りませんが、お祝いと感謝の気持ちをこめて、できる限り賑やかな集いにしたいと存じますので、皆様お誘い合わせのうえ、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。詳細は7面をご覧ください。(記 荒堀 善文)

生「10年ぶりの

参加してくれました。最初

### 36期生 卒業以来続く恒例の同窓会

毎年12月30日の同窓会は卒業以来途絶えることなく続く36期のイベントで、今年も石橋の居酒屋で開催



されまして。附小・附高の同級生も含め30名の仲間が西はマドリッド、東は東京から集結。途中石田先生も飛び入り参加くださり、大いに盛り上がりました。近況報告と思ひ出話オンパレードのデジャブーのような同窓会ですが、何ともいえず心地の良さに今年も予定をブロックしています。(記 岡野克也)

### 43期生 忘年会のご報告

去る2009年12月30日、石橋にて、43期(テラス附小・附高の同級生)の忘年会を実施しました。43期だけで21名が集まったのですが、同窓会報でこの忘年会の存在を知ったという方もおり、去年より多くの方が参加してくれました。当時同じクラスになったことがあるかどうかなんて関係なく、みんなひとつになり、楽しいひとときを過ごしました。みんな見た目は大人へと移り変わっていても、あの頃持っていたハートは今も変わらないのかもしれない!!

43期の石橋での忘年会は、毎年この恒例行事として継続していきたくと考えていま



す。同じ学び舎で同じときを過ごした同級生とは、大人になっても話はずみです!お近くにお住まいの方、年末年始帰省されるご予定の方は、ぜひ周りの方にもお声がけのうえ、次回ご参加ください。(記 西川輝美子)

### 34期生 卒業以来初めての同窓会!

きっかけは「2008年の啓子先生の退官パーティー」でした。ふと参加してみたくなって、友人と共に参加し、卒業以来初めて再会した懐かし顔。皆同じ思いか、あつという間に年内同窓会実施の話が纏まりました。

中学の名簿だけが頼りで、連絡つかない仲間もいましたが、8月に母校図書室で同窓会を実施しました。石田先生、仲田先生が参加し

### 東京阜城会

第28回東京阜城会総会が、2009年11月29日、東京ガールデンパレスにて、松村直行先生、藤原喜代子先生、母校から、新校長の山川正信先生、副校長の石田晶大先生、教務主任の上原昭三先生をお招きし開催されました。当日は、ピアノ奏者・音楽家の松田昌さん(14期)のミニコンサートをはじめ、



と感謝の気持ちをこめて私たちが中心となって企画する「石田晶大先生と教え子の集い」の決起集会も兼ね



て下さり、北海道から参加してくれた方、4人の子育て真っ最中のママさん、などなど約40名が集いました。遅くまで盛り上がり、4年後にまた同窓会をする事に!その後、有志による忘年会も実施。東京から帰省中の仲間達、新たな参加者も同級生の一人が附中HPに同窓会管理ページを立ち上げてくれました。少し先ですが、次の同窓会は2012年の予定です。また懐かししの仲間に会える日を楽しみにしています!(記 稲村早希子)



### 40期生 「10年ぶりの邂逅」



に大勢の同窓生や先生達が参加してくれました。最初は男女にすっかり分かれて話に華を咲かせていましたが、そのうち男女が入り混じっての名刺交換会が始まり、徐々に宴は佳境に。会場には小さな舞台があったので、くじ引きで順番を決めて、一人ずつ短い時間で近況報告。附中を卒業してから22年、そこにはそれぞれの人生の様々なドラマが詰まっていた。不惑を前にした邂逅に、青春のひとときを共に過ごしたという親密感と、心地よい刺激を覚えた夜でした。(記 関根友実)

### 【二次会案内】

▽10期(昭33卒) 同期会 阜城会総会終了後場所を替えて親しく歓談したく、以下の通り同期の二次会を開催しますのでご参加願います。なお都合で総会に出席できない方は二次会のみのご参加も歓迎します。

日時: 4月11日総会後 4時~6時頃  
場所: ブラウンダービー 曾根崎お初天神東側 エポックビル4階  
会費: 3000円位 (記 牧野)

▽20期(昭和43卒)に 同期会開催のご案内 阜城会総会に引き続き、同じリーガロイヤルホテルの「牡丹の間」で午後4時からのご予定で20期生の集まりを企画しました。藤原先生をはじめ、音楽の松村先生、技術家庭の直原先生、英語の由良先生、社会の山内先生にもご出席いただいたことになると思います。

五人の恩師をお迎えして、20期生で大いに旧交を温め盛り上がりたいたいと思っています。会費はちょっと高め(かも?)ですが、20期のA組、B組、C組のみんな、同期会(総会もよろしく)に大挙して参加してください。(記 A組 小林)

日時: 4月11日(日) 午後4時~6時  
場所: リーガロイヤル ホテル「牡丹の間」  
会費: 7500円

▽30期ミニ同窓会を 一部は阜城会総会懇親会にて、二部は午後6時半より行います。詳しくは、美濃部まで。 isawo@ain-ah.com



# 総会は リーガロイヤルホテル で「10の期」がお世話します

記念講演者紹介

今年は、会場を池田から大阪市内の大阪リーガロイヤルホテルに移して気分を新たに10の期が総会のお世話します。司会進行をフリアナウンサーの40期の関根友実氏にお願いし、総会第二部では、元日航パイロットの10期の境孝彦様に一万九千時間にもおよぶ飛行の中で体験を、また精神科医の20期の渡辺洋一郎

## 渡辺洋一郎氏プロフィール

昭和40年から附中で3年間過ごし、附高、川崎医科大学を経て精神科の医師になりました。精神科医になってみると、学生時代に良い友人に恵まれたことと幅広い事柄を経験できたことは本当に有意義



でした。川崎医大精神科の講師、病院勤務を経て昭和63年茨木市で精神科クリニックを開業。現在大阪精神科診療所協会会長、日本精神神経診療所協会副会長、平成20年からは内閣府自殺対策推進会議の委員を拝命しています。現在わが国では毎年3万人以上が自ら命を落とされます。なぜこんなに多くの人々が自殺されるのでしょうか。自殺者を減らすにはどのような社会を目指せばいいのでしょうか。精神科医の視点からお話したいと思います。

## 境 孝彦氏プロフィール

附中在学中、現在の伊丹空港は米軍基地として使用され、子供心に空を飛ぶものに憧れていました。民間航空のパイロットになるには、国立の航空大学に入るのが最も確実と知り、日大



3年修了により入学資格を得て受験、運良く入学しました。日航入社当時(昭和41年)は、経験あるパイロットが不足しており、訓練生からの昇格訓練は厳しかったものの、31歳の若さながら機長昇格の機会を得る事が出来ました。現在では空の旅はごく一般的となり、誰でも気軽に利用出来ますが、戦後の民間航空の歩み、技術発展を、時代と共に身をもって体験できました。退職までの総飛行時間、19,000時間の体験をお話しようと思います。

氏には年間三万人を超える自殺者を減らすには、どのような社会を目指すのかについて、お話をしたいいただきます。第三部は、お楽しみのお懇親会です。恩師の先生方もたくさんお越しください。

さいいます。また、各期ミニ同窓会会場としても是非ご活用、お楽しみいただければ幸いです。同窓生のみなさま、お誘い合わせのうえでの多数のご来場をお待ちしております。

## 平成21年度 阜城会総会報告

— 新会員の予想外の  
多数参加で  
にぎやかな会に —

裏話……  
61期の担任の先生方が、総会を盛り上げようと「美味しいものが腹いっぱい食べられる」と呼びかけてくださり、例年になく、新会員の皆さんが、約60名飛び入り参加をしてくださいました。(腹いっぱい食べられるほど、料理が用意できてませんでしたー笑)



61期の阜城会新会員達

平成22年度総会にご出席との連絡を頂いている恩師  
藤原先生、松村先生、由良先生、直原先生、山内(篤)先生、山内(啓)先生、樋口先生、篠原先生(旧姓松田先生)、石田先生(御夫妻(副校長先生と旧姓小山先生))  
なお当日ご都合が合えば、ご出席くださる先生は他にも多くおられると存じます。送稿の時点ではすべての先生方へのご連絡が差しあげられず、お許しください。たくさんさんの先生方と同窓生の皆様の総会へのご出席を心よりお待ちしております。(10の期・幹事)

2009年阜城会総会は、4月12日(日)午後1時30分、池田市民文化会館コンベンションホールにて147名の会員の出席で盛大に開催されました。当年度の担当幹事は「9の期」ということで、9期を中心に各期の幹事の皆様のご協力のもと行われました。前校長の三村先生の乾杯に始まり、松本阜城会会長、山川新校長の御挨拶の後、恒例の講演は、九期生の建築家であり、ボランティア活動にも熱心に取り組んでおられる「青野達司」様に「カンボジアで学校を作る」というお話をいただきました。特に今回は新会員の方々(61期生)が多数参加されたこともあり、国際貢献・交流の実績をあげられているお話は、若い方々には特別興味深く意義のあるものでありました。その後懇親会にうつり、先輩・後輩・同期とまぎって楽しい懇談があり、途中東京阜城会の藤木会長のお話もまじえ、最後は2010年担当の「10の期」への引き継ぎと「校歌斉唱」で閉会となりました。当日の開催に、ご協力・ご支援いただきました多数の方々にお礼申し上げます。(記9期 加藤正明)

カンボジアに学校を!!  
青野氏

ア活動にも熱心に取り組んでおられる「青野達司」様に「カンボジアで学校を作る」というお話をいただきました。特に今回は新会員の方々(61期生)が多数参加されたこともあり、国際貢献・交流の実績をあげられているお話は、若い方々には特別興味深く意義のあるものでありました。その後懇親会にうつり、先輩・後輩・同期とまぎって楽しい懇談があり、途中東京阜城会の藤木会長のお話もまじえ、最後は2010年担当の「10の期」への引き継ぎと「校歌斉唱」で閉会となりました。当日の開催に、ご協力・ご支援いただきました多数の方々にお礼申し上げます。(記9期 加藤正明)

# ご協力ありがとうございました

平成21年度 阜城会総会出席者&賛助金寄付者名 [21・2・1~21・12・31] [301名(無記名1名)]

皆様のご芳志  
に厚く御礼申  
上げます。

## ＜阜城会事務局からのお知らせ＞

阜城会ではホームページの作成(Perl/CGI)、クラス会・同期会の記事の投稿、「先輩の授業を受けよう!」の講師を募集しております。特に「先輩の…」は生徒たちの進路選択の一助として阜城会ならではの活動でありますのでご協力をお願いします。

詳細は事務局(office@kojokai.com)まで。

## 石田先生ありがとうございました!!

副校長の石田先生が、本年度で附中を退職なされます。附中に昭和47年9月に教育実習(5週間)に来られたのが、はじまりのこと。昭和48年4月、美術科教員として着任され、27期生の学年担任、昭和51年に31期生を、その後34、36、40、41、44期生の担任を受け持たれ、また、美術部・ソフトボール部・剣道部・サッカー部顧問としてご指導を頂きました。平成4年、7年は高槻市立第四中学校に勤務なされ、平成8年



に研究部長、美術部顧問として再び赴任され、平成12年から55期生の担任、平成15年から副校長の任に就かれました。33年間附中と附中生のために活躍くださいました。これからも、変わらずご指導をお願いいたします。

### 「石田先生と集う会」のお知らせ

平成22年3月、石田晶大先生(附属池田中学校副校長)が定年を迎えられます。そこで、先生の定年退職をお祝する「石田晶大先生と教え子の集い」を次の通り開催いたします。教え子の皆様は奮ってご参加ください。

### 「石田晶大先生と教え子の集い」開催概要

日時 平成22年4月11日(日)午後4時～  
会場 リーガロイヤルホテル大阪(阜城会総会と同ホテル)  
会費 金 8,000円(当日会場受付にてお支払下さい)  
参加者 石田晶大先生をお慕いする全ての附中卒業生  
問い合わせ 「石田晶大先生と教え子の集い」実行委員会  
連絡先 Email: ishida-tsudoi@nifty.com  
実行委員会事務局 印藤弘二(31期) (はばたき綜合法律事務所)  
電話 06-6363-7800 FAX 06-6363-8200

\*準備の都合がございますので、出席下さる皆様には、3月25日(木)迄に、上記のいずれかの方法で、お名前(旧姓もお願いします)・期又は卒業年・連絡先を明記のうえ、予め出席のご連絡を頂きますようお願いいたします。(教え子有志 世話人代表 田中邦典31期)



# 恩師便り

⑨

山際延夫先生(元校長)  
在職 昭和58年4月  
昭和62年3月

## なつかしき附属池田中学校



平成19年嵐山にて

私は昭和58年4月から4年間附属池田中学校校長として在職いたしました。本職は大学教官でしたので、大学で講義、研究や卒論指導等があり、附中に出動するのは週2回ぐらいだったと記憶しております。それでのたびは、生徒諸君と行動を共にし一番印象に残っている修学旅行の思い出を、拙文ですが思いつくままに綴らせていただきます。私は第二次世界大戦中を中学

生として過ごしたので、修学旅行の経験がなく、附中生と一緒に修学旅行は即ち自身の修学旅行といっても過言ではありませんでした。4年間の修学旅行はいずれも九州地方でしたが、特に第一回目の昭和58年5月の36期生の修学旅行は印象が強く、このたびはその折の思い出を書かせていただきます。いまでも目をとると青の洞窟、阿蘇、雲仙、長崎、柳川等での附中生と一緒に楽しい旅を思い出します。確か最初の宿泊地だったと思いますが、宿に到着し、夕食が終わる、旅の疲れで附中生は就寝時間となりました。しばらくして、私は用事ができ、部屋の外

に出て附中生の前を通ると、あちこちの部屋の前で彼等が神妙な顔をしてきつと正座してすわっている光景に出会しました。私はその様子に大変感激し、部屋に帰るやいなや、先生方に「流石附中の生徒達だ。寝る前に部屋の前にきちんと座り、一日の行動を反省していたよ。」という、先生方は、大笑いして「校長先生、彼等が寝床の中でしゃべりまくっていたので、我々が罰として部屋の前に座らせたのですよ。」という報告をいたしました。……これは私にとってのなつかしい修学旅行の思い出の一つです。

私は平成7年大阪教育大学を定年退職(同時に大阪教育大学名誉教授となる)いたしました。そして、7年前には長年住んでいた堺から池田に引越いたしました。場所は初期の附中生が通学していた現在の城跡公園のすぐ近くです。80歳になった現在、私は朝晩五月山を眺めながらやり残した仕事(化石の研究)をぼつぼつとゆったり、付近をぶらぶらと散歩したり、近くに住む小学生の孫娘達と遊んだり、時折家内に頼まれ

街(阪急池田駅付近)にて買い物をしたりして楽しく過ごしております。街中では、通学途中の附中生に出会う事があり、昔を思い出しながら懐かしいです。

スペシャルサンクス  
山内啓子先生(旧教員)(編集)  
永田浩章氏(30期)(編集・校正)  
住友希子氏(37期)(配送・ヤマト運輸)  
ご協力いただきました。ありがとうございました。

## 学校は今

### 耐震工事を終えて

平成20年度の補正予算で「耐震工事等」の予算が付ききました。対象は校舎の南館、西館、東館で、これらの建物

は昭和41年から42年にかけて建てられたものです。校舎全体が附属小学校側に沈み込んでいるとかコンクリート



壁が脆いなど、不安材料が多くありました。本格的な調査の結果、現在の耐震基準値を満たしていないことが判明し、平成21年7月か

ら22年2月までの8ヶ月間の突貫工事で耐震補強が施され、内装は壁・床・天井等を中心に改修されました。外壁は薄いベージュ色と

本校のスクールカラーの濃いえんじ色(女子のネクタイの色・教育大学のロゴマークの色)で統一され、すっきりと上品に仕上げられました。

内部は理科、技術・家庭科関係の教室を中心に改修され、明るく使いやすい部屋に生まれ変わりました。トイレも明るく清潔なものになりました。各部屋の設備品も老朽化が進んでいましたので、予算をやりくりしたり教育後援会からの補助金600万円で実験機、調理台、作業台等が更新されました。残念ながら、予算の関係で視

## 計報

前野博先生  
S26/S31・3まで附中で、S45・3まで附高で国語科を担当。去る平成21年10月30日、ご逝去されました。(享年96)

鈴木康之先生  
S45・4/S53・3まで理科を担当。陸上部の指導や地学部

## 三ッ石潤司氏(25期生)

東京藝大作曲科卒、同学大学院博士課程修了。1988年よりウィーン国立音楽大学に学ぶ。1989年以降同大学で教鞭を執り、1995年には同大学音楽科では初のアジア人専任講師となる。教育活動と並行してウィーン、バリの劇場などを中心にヨーロッパ各地でコレペティート・伴奏者・作曲家として幅広く活動。2008年帰国、武蔵野音楽大学教授に着任、2009年より東京藝大講師も務める。2009年オーストリア共和国功労金章受章。

## 秦 博文氏(14期生) 安楽寺住職

2010月2月に京都市東山区の浄土宗総本山、知恩院執事に就任されました。＜写真＞知恩院を見学するマータイさんを案内している秦氏。産経新聞2月15日(月)の夕刊に掲載された写真(柿平博文撮影)です。

## ☆同窓生の活躍☆

